

# スクラム

2022年5月号  
第205号

編集・発行  
「スクラム」編集部

〒732-0057 広島市東区二葉の里 1-3-16 スクラムユニオン・ひろしま  
TEL/FAX 082-264-2310 scrum\_u34@ybb.ne.jp 郵便振替 01310-1-65053  
銀行振り込み先 もみじ銀行 三篠支店 普通 口座番号 1820186

## 核と人類は共存できない！

4・26チェルノブイリ・デー



### 「4・26チェルノブイリ・デー」アピール（一部）

チェルノブイリ原発事故から36年が過ぎました。事故を起こした原発は、放射性物質の飛散を防ぐための巨大なシェルターに覆われるなどの対策が続いていますが、廃炉に向けた具体的なめど

は立っていません。この中で、世界を震撼させる出来事がロシア軍によって引き起こされました。チェルノブイリ原発事故で、被曝し、住む場所を追われた人々が、今度は命を奪われ、再び故郷を離れることを余儀なくされています。私たちは、一日も早い停戦により再びウクライナに平和が訪れることを強く求めます。（中略）

私たちは、チェルノブイリを、そして福島を、原発事故被害者の痛みを決して忘れてはなりません。世界はその現実に向き合うとともに戦火による新たな脅威も想定し脱原発への歩みを加速させなければなりません。「核と人類は共存できない」。新たなヒバクシャを作らせないためには、「核絶対否定」の道しかありません。 2022年4月26日

### **第93回メーデーにあたって**

#### **スクラムユニオン・ひろしま 委員長 土屋信三**

2月24日、ロシアのウクライナ侵略が始まった。メーデーにあたって、あらためて「万国の労働者団結せよ！」と呼びかける。労働者階級が他国の労働者・市民に対して侵略の銃を向けてはならない。ましてや殺してはならない。プーチンの引き起こした戦争は侵略であり、ロシア軍はすぐさまウクライナから撤退すべきである。そして、この侵略戦争を終わらせる一義的な力は、ロシア人民がプーチン政権を打倒する闘いの中にある。それゆえ、私たちはロシア人民が苛酷な弾圧の下で繰り広げている反戦・平和の闘いを断固として支持する。

ロシアのウクライナ侵攻から2か月が経って、プーチンの当初のもくろみは潰え去ったように見える。ウクライナ首都キエフの占領に失敗し、ゼレンスキー政権の崩壊とかいらい政権の樹立といった試みは頓挫した。これはウクライナ軍とウクライナ人民の抵抗と反撃によるものである。

ロシアの侵略に対するウクライナ民族の戦いは、民族自決・民主主義を求める正義の戦いであり、防衛戦争である。自国の運命は自国人民のみが決することができるのであり、他国の干渉、ましてや軍事的威圧によって決められることがあってはならない。私たちは、ロシアの侵略を糾弾し、ウクライナ民族の民族自決・民主主義の戦いを支持しなければならない。

一方で、ロシアを批判し、経済制裁を声高に唱えるアメリカやヨーロッパ諸国（日本を含めて）に正義があるとは言えない。没落する覇権国家としてのアメリカは、ヨーロッパ諸国と手を組み、NATO（北大西洋条約機構）を使って、ウクライナを手に入れようとしている。ロシアとアメリカとの争闘は、ウクライナをめぐる強盗たちの争いであり、帝国主義間の争いである。ロシアが悪者で、アメリカやヨーロッパ諸国が正義ということではない。そうであるが故に、私たちは、どちらに与することもなく、どちらも支持することはできない。唯一、われわれが支持するのはウクライナ民族の民族自決の戦いである。アメリカ・バイデンの戦略的ねらいは、ウクライナ戦争を長引かせ、ロシアを弱体化させると同時に、中国とロシアとの関係を分断し、ひいては中国包囲網を強化・完成させようとするところにある。アメリカにとって、最大の眼目は中国にある。

### **岸田内閣がもくろむ憲法改悪、軍事大国化を許すな。**

ロシアのウクライナ侵略を格好の口実として、岸田内閣は改憲と日本の軍事大国化を推し進めている。敵基地攻撃能力を反撃能力と言い換え、他国の中枢を攻撃することを目的としている。これはあからさまな先制攻撃、侵略を準備することに他ならない。軍事費をGDPの2%までに増大させ、アメリカ、中国に次いで世界第3位の軍事大国化をめざしている。さらには「核共有」などと称して、日本を核武装しようと公然たる呼びかけが行われている。そして、その最大の障害となっている平和憲法を改憲し、作り変えようとしている。現在の国会では、改憲勢力が4分の3を占めるまでになり、7月の参議院選挙の結果いかんでは改憲発議がいつされてもおかしくない状況になり得る。私たちは平和憲法を守り、日本の軍事大国化を阻止する闘いを組織しなければならない。

### **核戦争に反対しよう。**

プーチンがあからさまに核兵器の使用を口にしている。これを許すことは決してできない。私たちは、核兵器の使用がどのような結果を招くのか、事実として、歴史として、骨身に刻んで知っている。「核と人類は共存することはできない」。

核戦争の危険性、その現実性に目を開き、核廃絶に向けての大衆的立ち上がりを組織していかね

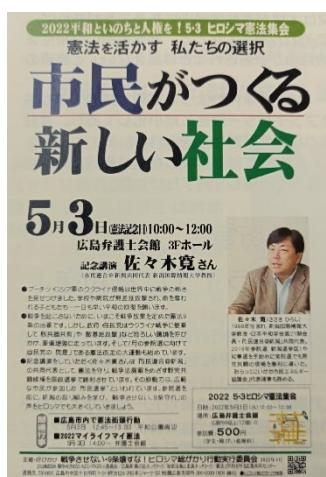
ばならない。そして、日本の軍事大国化、改憲策動、核武装を阻止しなければならない。ヒロシマには、その責務がある。

## ヒロシマ憲法集会報告

「戦争させない・9条壊すな！ヒロシマ総がかり行動実行委員会」主催の下、「2022 平和と命と人権を！5.3 ヒロシマ憲法集会」が広島弁護士会館で開催された。会場は260名を超す参加者で埋め尽くされた。集会テーマは「憲法を活かす 私たちの選択市民がつくる新しい社会」だ。

冒頭、実行委員会共同代表の山田延廣弁護士が開会挨拶を行った。山田弁護士はロシアによるウクライナ侵略を口実とした改憲の動きに対して「憲法を改正して、軍隊を持ち、敵基地を攻撃する能力を持つこと、核兵器を保有することで戦争が抑止できるのか?」「日本がこれまで戦争しなかったのは、憲法9条のおかげだ」と改憲論者を厳しく批判した。そして、「憲法の行方を決めるのは今度の選挙だ。憲法9条の命運のかかった参院選に向けてどう闘うかを学びたい」と、新潟で野党共闘を勝利に導いた市民連合@新潟共同代表 佐々木寛氏を紹介した。

佐々木氏は、野党時代の自民党改憲草案について「天皇を元首にして国防軍を設置し、個よりも国家を優先し、緊急事態条項まで書きこまれている。まさに戦前への回帰だ」と草案を厳しく批判した。そして、日本国憲法は現実的ではないと改憲派は言うが、「ウクライナ侵攻では世界中で戦争反対の運動、市民社会の連帯が起きた。この連帯に基づいて平和をつくることを日本国憲法は謳



っている。憲法の理想は21世紀ではむしろ現実主義的だ」と日本国憲法の平和主義の理念を高く評価した。まさに、それぞれの国民が政府の戦争政策に反対の声を上げていくことが戦争を止める唯一の道だと思う。

そして、「日本国憲法の理想こそが現実主義であり、国家の安全保障ではなく、国民の

憲法学者 佐々木寛氏

信頼が最高の安全保障だ」と述べた。また、「日本国民は平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、安全と生存を保持しよう」と憲法前文で「諸国民の信頼」が謳われていることを紹介した。憲法前文の「日本国民は政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないように決意した。」これが日本国憲法の平和主義の精神であり、9条で戦力の不保持、交戦権の否定が高らかに宣言されている。

今、自民党岸田政権が憲法に自衛隊を書き込むことで、この平和憲法を壊そうとしている。

佐々木氏は、「国家の安全保障は市民の安全を守らない」と明言した。ところが、日本はアメリカからもっと軍事負担をしろと言われ、これに応え、日米安保同盟を強化しようとしている。敵基地攻撃能力を「反撃力」と言い換えて、ミサイル基地だけではなく敵の政府中枢をも攻撃できる能力をもち、交戦権を持つ軍事大国になろうとしている。さらに緊急事態条項をつくり、戦争に反対する市民の権利を制限しようとしている。こうした危険な自民党改憲を絶対に許してはならない。

佐々木氏は、「軍事力ではなく市民の力で安全を」「市民が政治をどうつくるかが問われる」「市民が政治に参加すること」を力説した。

新潟で市民連合を結成し、憲法を理念として政策を立案し、先の参院選に勝利した佐々木氏の闘いから私たちが学ぶべき点は多い。



## 闘争短信

### (株)フォーブル 実働時間月200時間の職場に変形労働時間制？

フォーブルでは、乗務員一人当たりの未払い残業代が月平均2万円にものぼっていた。この未払い残業代が発生する原因は、会社に変形労働時間制を適用して残業代を計算しているからである。会社は「変形労働時間制が運用できる」と主張したが、組合はこれを明確に否定し追及した。その結果、会社は3月末に2月までの未払い残業代について、乗務員全員に対して一定額を支払った。

ところが、4月になって、会社は「変形労働時間制の運用は、北労働基準監督署の指導の下で作

成している」と主張し、この5月以降、変形労働時間制の適用を改めて強行しようとしてきた。この動きに対して、組合は直ちに組合員Cさんを申立人として、北労基に対して是正指導を求めた。

フォーブルの職場は月平均200時間もの長時間労働が常態化している。今回Cさんに示された5月の勤務割表を見ても、あらかじめ定められた労働時間は190時間である。そもそも「変形期間における法定労働時間の総枠の範囲内」(31日の場合は177時間以内)という変形労働時間制の要件を満たしておらず、変形労働時間制は採用できない。このことを北労基に丁寧に説明した結果、Cさんに対して①5月度について1か月単位の変形労働時間制は適用できない。②変形労働時間制に基づいて5月の給与計算をしないこと。③3月と4月の賃金は、1日8時間、週40時間を超えたものについて割増賃金を払うこと、以上3点を会社に指導すると約束した。

会社は本来採用できない変形労働時間制を謳って、残業代を削ろうとしている。Cさんの例では、5月一ヶ月で3万円以上の残業代不払いを合法化しようとしている。極めて悪質で、まさにブラック企業そのものである。

### **(株)インターソフト 破産手続き開始と解雇通知**

昨年、インターソフトは、Fさんに「賃金を半分にするか、それとも時給1000円でパートになるか」と二者択一を迫った。当時、知識のなかったFさんは、これでは生活できないと考え、やむなく退職する道を選んだ。だが、どうしても納得がいかなかったFさんはスクラムユニオンに加盟し、労働審判を行なった。昨年11月に開かれた労働審判では、Fさんの申立がほぼ認められ、労働契約上の権利を有する地位にあることが認められ、「退職」から現在までの未払い賃金の支払いが命令された。この審判に対して、大島社長がすんなり応じることはないだろうという判断の下、債権の差押えを行なった。この差押えは無事行うことができた。案の定、社長は労働審判に従うことなく、本訴を提起してきた。そして、裁判途中であるにもかかわらず、インターソフトの破産手続きを開始したのだ。これは裁判に負けても、Fさんに1円たりとも支払わないという意思表示であった。社長の人格がわかるというものだ。しかもご丁寧に、4月28日をもってFさんを解

雇するという解雇通知を送ってきた。この解雇通知は、労働契約上の権利がいままで続いていたことを会社が自認したことを意味する。

引き続き対応を迫られるが、Fさんの権利を守るために最後まで闘い続けていく。

### **(株) ユーシン 外国人技能実習生に対する資格外活動を許さない！**

(株) ユーシンは、約2年間にわたり、ベトナム人実習生に対し資格外活動をさせていた。自動車部品の製造工場であるユーシンは、プラスチック成形・射出成形作業の職種で実習生を雇用していた。にもかかわらず、ベトナム人のAさん、Bさんは、実習が始まるとすぐに「塗装場」に配置された。毎日、塗装された車のハンドルが前工程から流れてくるのを検査し、不良品をはねる仕事だった。不良品が多いため、とても忙しい職場だった。約2年間一度もプラスチック成形の仕事はやっていない。彼らは、プラスチック成形の技能獲得のために日本に来たのに、知識も学べず技術も取得できない事に、不安と怒りがこみ上げてきた。

もともと2人は、ベトナムでプラスチック成形の仕事をしていた。初歩的な段階の仕事だったが、ベトナムの会社から「日本で優れた技術を学び、ベトナムの仕事に活かしてくれば、給料も良くなり、工場長にもなれる」と励まされていた。そのため、来日費用のために多額の借金（およそ100万円）をしてでも日本にやってきたのである。事前に答を教えられて試験に受かった「基礎給技能検定合格証書」など、単なる紙切れでしかない。

団体交渉の中で、資格外活動を問い詰めると、ユーシンは、「2016年当時、入国管理局から事業縮小などで困っている実習生の保護のため引き受けて欲しい」と頼まれたので、引き受けたという回答だった。団交で本来の作業に就ける確認はしたが、現在も関連作業でしかなく、技能研修などは受けていない。技能実習生の受け入れ目的は「日本の優れた技能・技術又は知識を開発途上国等の経済発展に役立てる「人づくり」に協力すること」にある。ユーシンは、資格外の単純作業やきつい作業に実習生を配置するのではなく、制度の目的に従って実習をさせなければならない。

# スクラムユニオン・ひろしま

## 第21回定期大会を開催します。

日時：7月17日(日) 14時より16時まで

会場：西区民文化センター大会議室

今年はスクラムユニオン・ひろしま結成から20周年となります。これまでの活動を振り返り、新たな出発の大会としたいと考えています。

多くの組合員の積極的な参加を要請します。



日本語教室に通う外国にルーツのある人たちのことをもっと知ってほしい

ぜひ皆さんに読んでほしい1冊です。 著者 尾坂紀生

問合せ先 スクラムユニオン・ひろしま または 尾坂紀生 (おさかのりお)

080-2558-6562 osakanori@gmail.com

### スクラムユニオン・ひろしまの活動報告と予定

4月の報告 (一部抜粋)	5月の予定 (一部抜粋)
3日 スクラムユニオン・ひろしま執行委員会	1日 広島中央メーデー
4日 アスベストユニオン西日本	3日 憲法集会
6日 本四バス団交・中国帰国者の会	8日 スクラムユニオン・ひろしま執行委員会
7日 フクシマを忘れない！さよなら原発集会	10日 実習生ネット・コムテック団交
9日 リキさん聞き取り・ふれあい学習会	11日 アバンセ団交・反貧困ネット役員会
11日 教育委員会団交	12日 東和裁判
15日 フォーブル団交・入管	13日 中労委・沖縄行動(～15日)
16日 患者と家族の会事務局会議・帰国者の会	14日 CUNN 全国運営委員会(北海道)
18日 アバンセコミティ・フジアルテ事務折衝	17日 ヴォット裁判
20日 アバンセ団交・全国キャラバン打ち合わせ	19日 フジアルテコミティ・労働相談会(出雲)
21日 東和証人尋問・インターソフト裁判	20日 労働相談会(出雲)
24日 移住連運営委員会	22日 NPO 非正規労働相談センター総会
25日 実習生ネット・ウィルソン病院	29日 実習制度廃止！全国キャラバン(アステール)・岩下講演(バプテスト教会) 他
26日 チェルノブイリ座込み・コムテック団交 他	